

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【重点課題推進校用】

学校番号	14
学校名	富山県立富山中部高等学校

重点課題	探究的・科学的な思考力を高める取組	
課題設定の趣旨	地域から地球規模にいたるあらゆる立場、局面において、科学的かつ倫理的見地から問題を考え、新しい社会を共創することができるグローバルリーダーを育成したいと考えている。そのため、生涯にわたり探究力を磨き続ける態度、姿勢を身につけさせる。	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	将来、国際的に活躍する科学技術人材を育成するため、スーパーサイエンスハイスクールで開発した探究科学科において行っている『探究モジュール』のプログラムを普通科用にアレンジし、読み解く力の強化を行う。読み解く力を強化することで本校全体の探究力の向上につなげる。 普通科用のプログラムの他校への普及に取り組むとともに探究力の伸長を測るものさしの研究を行う。	
実施内容 (具体的に記入する)	以下の○囲みの数字は実施実績に記載の番号と対応する。 1 グローバル社会に通用する自己発信力の育成 ・普通科、理数科学科、人文社会科学科すべてにおいて課題研究発表会(③)を行い、年度末には研究集録(⑦)を作成した。 2 様々な学問分野に関心を持ち、進路実現に向けて主体的に取り組む態度の育成 ・10月に1年生で進路講演会(1年)①を行った。社会で活躍されている15分野から講師を招き講演を行った。 ・10月に予定していた大学探訪(2年)②はコロナのため中止、代わりにオンライン東大生と語る会②'を8月と12月に実施し、大学での学問や研究の様子を学んだ。 ・3月進路意識の向上や学習へのさらなる意欲喚起を促すため、進学探究講座(1・2年)⑤および大学生(卒業生)に学ぶ会(2年)⑥を行った。	
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	学校全体で研究交流の機会を設け、新しい発想を生み出させる。読み解く力を向上させ、多面的に深く物事を考えることができるようになることが期待できる。普通科用にアレンジした探究モジュールを行っており、現在3年目であり、改良を重ねている。セルフアセスメントやルーブリックを用いた評価では一定の成果が見られる。他校への普及を考えていきたい。	
対象者(学年・人数など)		
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	②2年 60名: オンライン東大生と語る会
	9月	
	10月	①1年: 進路講演会 ②2年: 大学探訪 中止 → ②' オンライン東大生と語る会(8月 代替)
	11月	
	12月	②' 2年 80名: オンライン東大生と語る会
	1月	③2年: 人文社会科学科「発展探究」課題研究発表会
	2月	④: 普通科課題研究発表会
	3月	⑤1、2年: 進学探究講座 ⑥2年: 大学生(先輩)に学ぶ会 ⑦2年: 探究科学科「発展探究」課題研究集録